

「安全・安心」「健康・快適」「住まいの情報」「工法・設計」「これからの家づくり」の5大テーマ

住まいのあらゆる悩みに応える総合展示会

～「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」「木と住まいの大博覧会」を開催～

◆ ニュースポイント ◆

気象庁によれば、東日本大震災から7年が経過したものの、昨年3月11日から今年3月6日の約1年間に震度1以上の地震が514回観測されるなど、依然として余震活動は活発な状態にあり、引き続き強い揺れに注意するよう呼びかけています。日本全体をみても、大阪府北部において震度6弱を記録した地震が6月18日に発生したことをはじめ、震度5弱以上の地震が今年には既に7回発生しています。気候変動を一因とした記録的な豪雨も増加し、私たちの暮らしは常に様々な自然災害の脅威にさらされています。そのようななか、耐震性能や耐風性能に優れたレジリエンス性の高い住まいや、災害に強い暮らしが求められています。

「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」「木と住まいの大博覧会」は、住まいや木材に関連する国内外の住宅関連事業者や、自治体、学術機関などが一堂に会し、一般ユーザーからプロユーザーに至るまで、地震に強く安全・安心でレジリエンス性が高い住まいづくりに関する最新の情報について、幅広く発信する総合展示会で全国5都市で開催しています。仙台では2011年より、「すまい元気フェア」として、東北にお住まいの方に元気になっていただけるよう、各出展者により一般ユーザーがより楽しめるような工夫が凝らされています。会場では、宮城県土木部などが住まい全般に関する窓口を設置し、住宅再建をはじめ、様々な住まいの相談に応じます。更に、良質な木材産地を数多く有し、森林資源に恵まれた東北地方の「木づかい」への取り組みや、資源循環型社会の形成につながる日本の木材利用を促進する取り組みをご紹介します。

2018年は、「安全・安心」「健康・快適」「住まいの情報」「工法・設計」「これからの家づくり」の5つのテーマで、7月7～8日の2日間、「夢メッセみやぎ」にて開催します。

【テーマ①】「安全・安心」地震に強い住まいづくり（新築及び耐震改修）と防災対策

近年発生している大地震では、建物の倒壊による人的被害や経済的損失だけでなく、自宅に居住できなくなることで生じる問題もクローズアップされています。これからあるべき住宅の地震対策や防災対策などを、無料相談や展示などを通じて提案します。

【テーマ②】「健康・快適」ZEHやスマートウェルネス住宅など、快適に暮らせる省エネ住宅を紹介

木は調湿性や保温力、リラクゼーション効果など、住まい環境や健康に良い影響を与える特長を持っています。木をふんだんに使った住まいが、人の身体に与える影響などについて分かりやすく紹介するほか、ZEHや健康寿命の延伸に寄与するとされるスマートウェルネス住宅について解説します。

【テーマ③】「住まいの情報」国内外の住宅関連・木材関連メーカーや自治体が多数出展

国内外の住宅設備機器メーカーが多数出展し、今期注目の新商品や大人気商品を展示します。また、宮城県をはじめ8県が出展し、各県の良質な地域産木材を取り入れた住まいや暮らしを展示するほか、秋田県立大学などによる木材や木造建築に関する最新の研究を展示します。

【テーマ④】「工法・設計」建築物の木造化について実物大構造躯体で提案

地域産材を使用した木造住宅を紹介するほか、高齢者施設や学校などの公共施設をはじめ、店舗などでも注目が高まる建築物の木造化について、「木造ゼネコン®」としてご相談に応じます。

【テーマ⑤】「これからの家づくり」住まいと人がIoTでつながる「コネクティッドホーム」

AIスピーカーの登場により、人間と様々な機器類がインターネットを介してコミュニケーションできる時代が到来しつつあります。その一端を実際に体感できるコーナーを設けます。

——「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」「木と住まいの大博覧会」に関するお問い合わせ先 ——

「住まいの耐震博覧会」「木と住まいの大博覧会」の見どころ

【テーマ①】「安全・安心」 地震に強い住まいづくり（新築及び耐震改修）と防災対策

- 「耐震等級3」の住まいづくり（長期優良住宅の戸建て躯体の実物大建物の展示）

「耐震等級3」とは警察署・消防署など、災害時の拠点となる建物に必要とされる耐震基準で、建築基準法で定められた強さの1.5倍の耐震強度を備えた建物です。会場では、実物大の建物や建て方実演をご覧いただきながら、耐震強度の重要性などを説明します。



耐震性の高い最新の木造住宅を紹介

- 耐震診断と耐震改修の啓発

1981年以前に建てられた旧耐震基準とそれ以降の耐震基準の違いなどを電動の構造模型で説明するとともに、最新の耐震補強部材等を展示いたします。NPO法人住まいの構造改革推進協会の耐震技術認定者が無料でご自宅の耐震相談にも応じます。

また、（一社）ステキ信頼リフォーム推進協会が、高齢者体験を通じた具体的なバリアフリーリフォームの方法や、住まいを高断熱化する改修方法などについて、構造模型などを通じて解説します。



電動の構造模型で、耐震化が学べます

- 宮城県が相談ブースを設置

宮城県よる個別ブースが設置され、宮城県土木部では住宅再建をはじめ、耐震診断や耐震改修、住宅に関する補助金相談を、宮城県住宅供給公社では土地情報の提供などを行います。

【テーマ②】「健康・快適」 ZEHの仕組みや、木のぬくもりが住まい環境や健康に与える影響

- ZEHとは何かを分かりやすく解説

ゼロ・エネルギー住宅の仕組みを分かりやすくご提案します。住宅会社や工務店向けに、ゼロ・エネルギー住宅の具体的な商品化に向けたご提案を行います。

- 新素材「Gywood（ギユッド）」による内装木質化を提案

軟らかく傷つきやすいという針葉樹の無垢材の弱点を克服するとともに、針葉樹と広葉樹の物理的な長所を兼ね備えた無垢の新素材「Gywood（ギユッド）」による木質化を提案



新素材「Gywood」による内装材や家具を提案

【テーマ③】「住まいの情報」住宅設備・木材メーカーの新商品や自治体・学術機関の取り組みを紹介

- 国内外の有力住宅設備機器メーカーによる注目の新商品

国内外の建材・住設機器メーカーにより、外壁や水回り、屋根材など住宅を形づくるあらゆる商品を展示します。各展示ブースでは、様々なデモンストレーションを交えて最新商品を紹介します。

- 木のある暮らし、素材としての木材の有効性

宮城県をはじめ、岩手県、山形県、秋田県、福島県、茨城県、宮崎県の7県が出展し、東北地方の良質な地域産木材を中心に、木材を用いた家づくりや内装材、家具材などを展示するほか、秋田県立大学、岩手大学、山形大学が、木や木造建築に関する最新の研究の展示や、リレーセミナーを行います。



一大ショールームのような会場

【テーマ④】「工法・設計」 中・大規模建築物の木造化

- 「木造ゼネコン®」としての取り組みを紹介
木造で大空間を実現できる6種類の梁を、実物大の構造躯体で、提案します。会場では、建築物の木造・木質化について、企画・設計、調達、加工、施工をワンストップで行うことができる当社が、具体的な相談に応じます。



3Dに加工した集成材など、
木造の新たな可能性を提案

【テーマ⑤】「これからの家づくり」 AIやIoTなどの技術による住まいや暮らしの変化を体験

- コネクティッドホームの紹介
今話題のAIスピーカーと、テレビや照明、エアコンなどの機器をインターネットでつなぎ、実際に音声で操作できるコーナーを設置します。

名 称：住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア

日 時：7月7日（土）10：00～17：00

7月8日（日）10：00～16：00

入場料：無料

会 場：夢メッセみやぎ

主 催：ナイス株式会社

協 賛：木材・建材・住宅設備機器有力メーカー

出 展：国内外住宅関連事業者・団体

後 援：宮城県、ナイスパートナー会連合会、ナイスわくわくクラブ、素適木材倶楽部、
（一財）強靱な理想の住宅を創る会、（一社）木と住まい研究協会、（一社）ステキ信頼リフォーム推進協会
NPO法人住まいの構造改革推進協会、（一社）宮城県建築士事務所協会、（一財）宮城県建築住宅センター
（一社）岩手県建築士事務所協会、（一社）福島県建築士事務所協会、（独）住宅金融支援機構 東北支店
TBC東北放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台、河北新報社、仙台放送

名 称：木と住まいの大博覧会

日 時：住まいの耐震博覧会と同様

入場料：無料

会 場：夢メッセみやぎ

主 催：（一社）木と住まい研究協会、（一財）木構造建築研究所、ナイス株式会社

協 賛：木材有力メーカー

出 展：木材事業者、自治体、学術機関・団体

後 援：林野庁、宮城県、青森県、秋田県、岩手県、山形県、福島県、宮崎県、（公社）国土緑化推進機構
美しい森林づくり全国推進会議、（一社）全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、（一社）日本木材学会
（公社）日本木材加工技術協会、（公社）日本木材保存協会、（公社）日本建築士会連合会、
（一社）日本建築士事務所協会連合会、（公社）日本建築家協会、（一財）日本木材総合情報センター
ナイスパートナー会連合会、素適木材倶楽部、（一財）強靱な理想の住宅を創る会
（一社）ステキ信頼リフォーム推進協会、NPO法人 住まいの構造改革推進協会
（一社）宮城県建築士事務所協会、宮城県木材協同組合、宮城県森林組合連合会
（一社）岩手県建築士事務所協会、（一社）福島県建築士事務所協会、TBC東北放送、ミヤギテレビ
KHB東日本放送、エフエム仙台、河北新報社、仙台放送

【会期中の取材に関するお問い合わせ先】

ナイス株式会社 広報室：森・内野

〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1 ナイスビル 8 階

TEL：045-501-5048 FAX：045-502-5891